

## 中小企業の生産性向上に向けた「IT化促進」

### ◆ITリテラシー向上に向けた情報発信、 専門家派遣や事例集の発行〈東京〉

- ▶ 中小・小規模企業が、IT化の第一歩を踏み出せるよう、IT活用情報の発信、セミナー、相談会、情報専門家派遣を実施。
- ▶ セミナーは、販路拡大に向けたWEB広告・ショッピングサイト活用や、業務効率化、情報セキュリティ対策など、経営課題に対応した実践的な内容。平成27年度の参加者数は約1,300人。受講満足度は約90%。
- ▶ また、実際にITを導入し成功した中小企業の成功例を収集した事例集を作成、3,000部発行。
- ▶ より多くの事業者には普及するには、攻めのIT活用に向けた事例紹介、IT人材育成、情報セキュリティ対策の啓発を官民一体で行うことが重要。



### ◆ITワンストップ相談拠点、「クラウドファンディング」活用〈豊中・大阪府〉

- ▶ 民間ITベンダーの参入が少ない中小・小規模企業は、ITの情報・知識が少ないため、商工会議所に「ITコンシェルジュ」を設置。HP作成、クラウドの活用方法など、ITに関する幅広い相談に対応。出張相談も実施。実際にIT導入・活用を支援した件数は年間約120件。
- ▶ 民間企業と連携し、平成25年からクラウドファンディングによる資金調達を支援。商工会議所は、出資者にPRするための事業計画の策定から税務・会計、人材育成まで伴走支援。



(利用した事業者の例)  
全国から432名・計1,788万円の出資を受け、専門料理店を開店。出資者がお店のファンとなり、メディアに多数取り上げられ、開店後2年で売上・雇用とも3倍超に。

### ◆ITを活用した販路開拓・拡大支援 〈横須賀・神奈川県〉

- ▶ 人口減少が進む中、地域に密着した中小・小規模企業の売上向上には、地域の商圏分析・地域外への販路開拓がカギ。
- ▶ 商工会議所は潜在顧客層を地図に表示するGIS(地理情報システム)を導入。事業者はチラシ配布・顧客管理・商圏分析に活用。



(利用した事業者の例)  
GIS分析に基づき、一定距離内の顧客にDMを送付したところ1割強が来店。売上・客数も伸びた。

- ▶ また、販路開拓に向け、Yahoo!JAPANと連携した地域産品ギフトモール「おもてなしギフトショップ」を平成25年に開設、出店まで総合的に支援。さらに、商工会議所のネットワークを活かし、全国から181事業者・690商品が掲載。年間訪問客数は12万人。

### ◆日本商工会議所の取り組み

- ▶ 経営指導員のIT支援力向上に向けた研修会の開催(クラウドサービス導入、ネットショップ開設、情報セキュリティ対策、マイナンバー対応等)、ITコーディネータ協会との連携による専門家・講師リスト提供。
- ▶ 情報セキュリティに対応した保険制度の普及

## 地方のイノベーション力強化に向けた「産学官連携・ものづくり支援」

### ◆商工会議所が市・大学等と連携して 地域産業・ものづくりを総合支援

- 〈長岡・新潟県〉
- ▶ 商工会議所を中核に、企業・大学・支援機関・金融機関・行政等が連携し、ものづくり企業をサポートする「長岡産業活性化協議会」(通称NAZE)を平成17年に設立。
- ▶ 長岡商工会議所と長岡市が運営。現在73会員で構成(平成28年1月末現在)。
- ▶ 技術マッチング、現場カイゼン、人材育成、展示会出展、学生向け企業見学会・就職ガイダンスなど、ものづくりを総合的に支援。ODA事業に採択された企業もある。
- ▶ 優秀なコーディネータ人材の確保が課題。



5Sチェック会



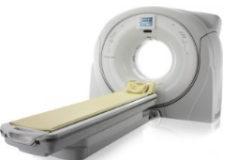
展示会への出展

### ◆「ものづくり指南塾」で、地域に仕事を創出 〈前橋・群馬県〉

- ▶ ものづくりの新たな仕事を創出し、地域の製造業を存続させるため、平成21年に、製造業の若手経営者を中心とした「ものづくり指南塾」を設立。
- ▶ ①先端技術連携事業、②医工連携事業、③農商工連携事業、④次世代・ドリーム事業の4チームを編成。最先端技術を学び、企業連携による新たな技術・製品を開発。
- ▶ 技術開発に取り組んだ多くのメンバー企業が「ものづくり補助金」に採択されている。



製造業で培った生産管理のノウハウを活かした、完全閉鎖型水耕栽培によるトマト栽培



群馬大学とのがん治療機器の共同研究試作品

### ◆医工連携、医療機器事業化支援の 推進〈大阪〉

- ▶ 研究機関・医療機関の医療機器開発に関わる研究成果や医療現場のニーズ、大手医療機器メーカーのアライアンス・ニーズを企業に提示する「医工連携マッチング例会」をほぼ毎月開催(年間約1,000人参加)。
- ▶ これまでに医療機関、大学・研究機関から提案があった案件のうち、企業との共同開発が検討されたのは587件、そのうち製品化・実用化に動き出している案件は約200件、事業化に至った案件は24件となった。
- ▶ コーディネータや事務局のきめ細かい支援により、マッチング率は90%を超えている。
- ▶ 今後は、いかに各地域において、支援機関の数を増やしていくかが課題。



大阪大学との医工連携で開発されたロボット

### ◆生産性向上を目指した現場カイゼン 製造業「ムダ取り塾」〈広島〉

- ▶ 平成23年度から、製造現場における「ムダ取り」をテーマに、全6回シリーズの、製造業「ムダ取り塾」を開講。
- ▶ 30人程度の少人数制で、「自社課題研究」を実践。講義形式に加え、「ムダ取り」に関する先進企業の視察や参加者間での課題・改善方法の議論を通じ、より実践的な現場スキルを習得。
- ▶ 最終回には、参加企業の経営者・上司の前で、課題研究の成果を発表。受講後、社内でカイゼン活動を推進するためのバックアップ体制が得られ、高い効果を上げている。



自社課題研究・意見交換



成果発表会